

令和4年1月1日から

# 瓦屋根の緊結方法が強化されます

建築基準法の告示基準（昭和46年建設省告示第109号）が改正されました

工事業者・工務店の皆様へ



## ガイドライン工法<sup>※1</sup>を踏まえて、告示基準<sup>※2</sup>を改正

※1 業界団体（（社）全日本瓦工事業連盟、全国陶器瓦工業組合連合会、全国厚形スレート組合連合会）が作成した「瓦屋根標準設計・施工ガイドライン」（平成13年8月策定）で示される強風や地震による屋根瓦の脱落被害を防止できる工法

※2 昭和46年建設省告示第109号

## 瓦の緊結方法に関する基準（昭和46年建設省告示第109号）

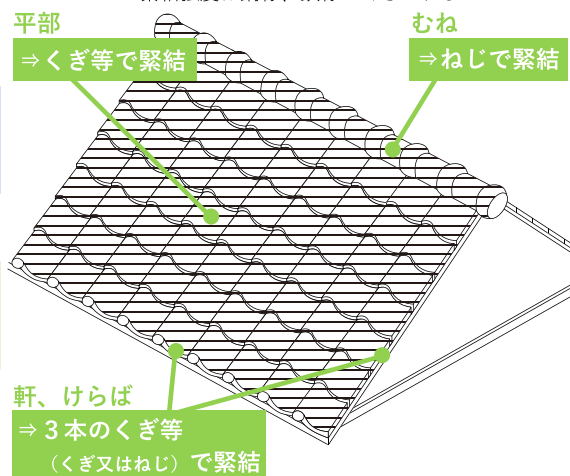
・令和4年1月1日以降、瓦屋根は、以下の緊結方法でふく必要があります

### 緊結箇所

### 部位別の緊結方法

### 緊結方法

緊結強度は銅線、鉄線<くぎ>ねじ



これまで

軒、けらば（端部から2枚までの瓦）、むね（1枚おきの瓦）

令和4年1月1日～

軒、けらば、むね、平部  
**全ての瓦**

これまで

銅線、鉄線、くぎ等で緊結

令和4年1月1日～

**瓦の種類、部位、基準風速**  
に応じた緊結方法

### 規制対象

強風対策（緊結強化）が求められる屋根  
**瓦屋根（粘土瓦、セメント瓦）**

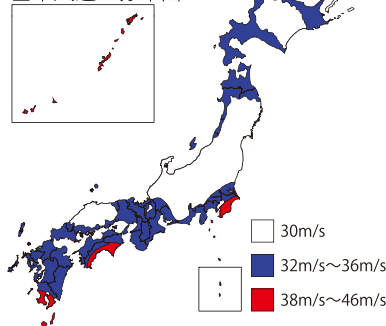
今回の対象外の屋根  
スレート屋根、金属屋根  
（金属瓦、金属板）

平部の瓦の緊結方法

| 瓦の種類                 | 基準風速V <sub>0</sub> |          |          |
|----------------------|--------------------|----------|----------|
|                      | 30m/s              | 32~36m/s | 38~46m/s |
| F形                   | くぎ等<br>2本で緊結       | 使用不可     | 使用不可     |
| J形、S形                |                    |          |          |
| 防災瓦（F形）<br>(J形) (S形) | くぎ等1本で緊結           |          |          |

**耐久性** 屋根ふき材・緊結金物にさび止め・防腐措置をすること（改正前後で変わりません）

基準風速の分布図



・上記の他、①②の緊結方法も可能です

① **ガイドラインの標準試験**に合格した緊結方法

② 告示第1458号の**構造計算方法**により安全性が確かめられた緊結方法

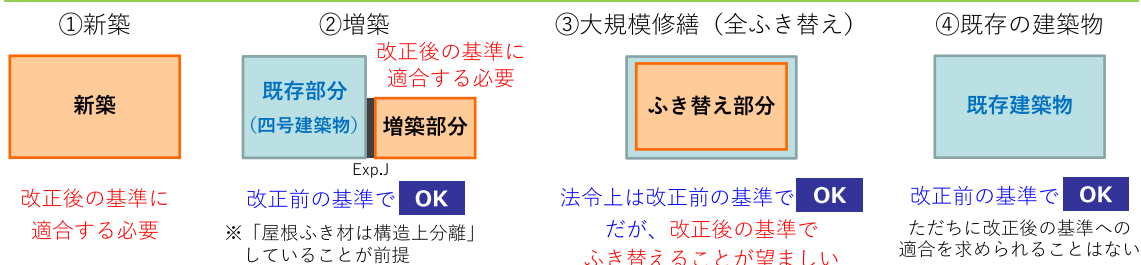


全国PCがわら組合連合会

完了(中間)検査時の申請図書

- 完了検査又は中間検査の申請に必要な工事監理報告書における瓦屋根工事については、構造図等の設計図書と、瓦工業者が作成する品質管理記録の照合を行いますので、その旨と照合結果を記載します

令和4年1月以降の新築・増改築時等の取扱い



強風対策への補助制度

- 強風対策として行う屋根の耐風工事等への補助制度があります  
※下記事業は、令和3年度の予算成立を前提としたものです

**住宅・建築物安全ストック形成事業(令和3年度～)** 補助制度が受けられるかは、各自治体にお問合せください  
概要はこちら [https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/jutakukentiku\\_house\\_tk\\_000146.html](https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/jutakukentiku_house_tk_000146.html)

瓦屋根の耐風診断

補助対象限度額 31,500 円/棟  
補助率 地方公共団体実施：国 1/2 民間事業者等実施：国と地方で 2/3

瓦屋根の耐風改修工事

補助対象限度額 24,000 円に屋根面積(m<sup>2</sup>)を乗じた額(上限 2,400,000 円/棟)  
補助対象率 23.0% 補助率 1/2(国費率 11.5%)

※対象区域：DID 地区等(基準風速 32m/s 以上の区域)又は地域防災計画等で地方公共団体が指定する区域

**長期優良住宅化リフォーム推進事業(令和3年度～)** 対象事業に該当する場合、瓦屋根の改修に活用可能です




対象事業 以下の①、②を満たすリフォーム工事  
①インスペクションを実施し、維持保全計画・履歴を作成すること  
②工事後に耐震性と劣化対策、省エネルギー性が確保されること  
補助率 1/3  
補助限度額 100 万円/戸 他 ※その他条件により補助額加算可



瓦屋根の耐風診断

- 下表は2次診断(瓦屋根診断技士等による屋根上からの詳細診断)のチェック項目例です
- なお、2次診断の方法については、今後、改訂する「瓦屋根標準設計・施工ガイドライン」に掲載しますので、詳細についてはそちらをご覧ください

チェック項目例


|                |                                                                                                                                                                                                             |                                                                                       |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| むねの不具合         | <input type="checkbox"/> むね瓦が移動していないか(浮き、ずれ、飛散・脱落がないか)<br><input type="checkbox"/> むね瓦が損傷・劣化していないか(損傷・劣化している場合)<br><input type="checkbox"/> 移動・損傷・劣化した部位はどこか<br><input type="checkbox"/> どのような金物で緊結していたか など |  |
| 平部の接合部(めくって確認) | <input type="checkbox"/> 平部の留付け状況(1枚当たりの留付け箇所など)<br><input type="checkbox"/> 接合具の状況(くぎ、ねじなどの接合具と長さや形状) など                                                                                                   |  |
| 軒瓦の接合部(めくって確認) | <input type="checkbox"/> 軒瓦の留付け状況(1枚当たりの留付け箇所など)<br><input type="checkbox"/> 接合具の状況(くぎ、ねじ、緊結線などの接合具と長さや形状) など                                                                                               |  |

瓦屋根に関する関連情報等

**瓦屋根工事にかかる基準**

国土交通省ホームページへ

強風対策 国交省 検索



**耐風診断・耐風改修**

全日本瓦工事業連盟ホームページの「加盟工事店の検索」から、お近くの工事店を検索することができます  
詳細はこちら <http://www.yane.or.jp/meibo/meibo.cgi>  
なお、耐風診断については、「瓦屋根診断技士」等の資格取得者が在籍している工事店にご相談ください